

私と偉大な兄

角ひろし

私は幼少からずいぶん兄に助けられた。旧宅の魚屋からそう遠くない太田川に、近くの八百屋の子と一緒に、夏だから、川遊びにでかけた。川岸のかわらの石をいじっていた。足場が悪かったのだ。すぐに急所に投げこめられた。近くの橋下にはすがる所がない。近所の八百屋の兄の方の子供が、私の兄に、おまえの弟がおぼれかかっているという。兄はすぐ助けられないように、私の後ろからもぐって、押し上げて助けてくれた。共倒れになると大変だからできないのだ。普通の人がやったら、共倒れになっただろう。

小学校三年生の時のことだ。学校で、肥った悪賢い同級生からもいじめにあった。怖くて、兄が助けてくれた。その肥った少年は家庭環境も悪く、不良の兄が二人いた。それも苦しいのを他の者にぶつけたのだろうと思われるのだ。その子は、自動車の教本も、小学生なのに勉強していたし、お山の大将だった。部下が多くいる。話がかわって、さかのぼると私が小学二年の時も、私が自家中毒で、N病院に入院した時も、夜タクシーで行ったのだ。病気の原因は、アイスクリームをよく食べていたので、それになったように思った。安いアイスクリームであった。母が付添婦をつけてくれて、病院の二階で寝たのだった。付添婦は椿さんといって、寝る前、夜伽をして眠らせてくれたのでよく眠れたが、一ヶ月で退院したら、父や兄が大丈夫だったかと言ってくれた。そして、小学六年生の時、塾に行っていて、日曜日テストがあるので、県庁内のスクールバスで行った。入学試験がやってきた時、面接があった。鯉城中学であった。面接も試験も通らなかったが、今から考えると遠い所にあった学校なので、母にも金銭的に迷惑をかけて通わなくてよかった。兄は小型バイクで、盛岡の錦帯橋につれていってくれた。運転がうまいのだ。よくも交通事故を起こさなかったものだ。今思うとゾツとする。また、小学校時代、私が親類の頭のへんな青年に冷たくするといつて、腹をけったし、二、三回ことあるごとと同じ理由でけられたようだ。高校時代、大工が家の改修をしていると、物をなくしたので、物をとって帰ったと言った。また、けられた。

話はまた、さかのぼるが、中学英語がよく出来たと、百点のときも多くあったのだ。私にも一つは取り柄があること、それでもカレーライス、すき焼き、焼き飯、味噌汁ぐらいできたし、自分の旧宅の小さな庭に大根を植えたりした。自分なりによくできたものと思っただのだ。ところで、兄はIQが百二十くらいあり、頭がよいのだ。珠算一級、簿記一級

あり、連続であった。大学時代、京都の同志社に入り、哲学科に席をおく、その前は松山商科大学で、危ない乗馬クラブに入っていたが、なんのためか、同志社にかわった。大学受験時代は、英数学館に入り黙々と勉強していたし、また、家庭でも、父の知り合いの広大教授に、教授のつくったうすい英文解釈をノートにきれいに映して毎週勉強していた。ケネディのことを話して、政治への関心を示し、教授は身長が、一八〇センチくらいあった。兄は同志社に入ると、哲学科に席をおきながら哲学科の美しい女性と恋愛していた。自宅の比叡山下の下宿でいちやついていた。私はまた寝たふりをしたのだった。この女性には梶井基次郎が好きで、兄を思っているのが思えるほどだ。サルトルとポーヴォワールを気取っているかもしれないと思えるほどだった。美貌の哲学女性は、兄を通じて、ドイツ語をとっているのです、私にドイツ語の翻訳をさせた。上々の出来ではない。彼女は神戸の洋服屋の長女で、兄と結婚することになっていた。家に借金があることで、母が反対した。父は結婚を許していた。兄は学校も終り、以前広電鮮魚市で腕をみがいていたが、速くやることを心掛けていたのだった。家事もしていた。ニーチェ、カント、デカルト、ラッセル、サルトル、モーム、ディケンズ、デュマ、完成された読書を私も真似をしたが、しきれない所もある。兄は、父が死んだ会社を受け継いだ。最初は事務員二名、朝の荷運び人二人やとっていたが、自衛隊（岩国、海田、江田島）と取締して十五年くらいでやめた。姉が店長をやっているから、私が貧乏に困っているのを見て、兄も母も一万円くれた。出世払いとってくれた。その兄の晩年は、人工透析で、四年間生きた。雨も嵐の日も愛人（バー通いで知り合った）をつれてタクシー代に六万円くらいかかり、それに透析時の手続は私がやった。低カリウムで立てなくなる、心臓病で、腎臓病の病気で救急車を呼んだ。その兄も、私が五十七歳で、五十九歳で、二歳違いである。七夕の日に急死した。朝、行ってきますと言って出た。意識不明になった。脳幹出血で死んだ。夜、県病院にとまりに行った。葬儀屋の写しも写りのよい、ビデオつきの盛大な葬儀であった。兄の燃えかす、どくろになった頭蓋骨ごとみえた。よくも人工透析のような病気で四年間も生きながらえたのも不思議で、天国に旅立っていたように思われる。いつも泣いていたし、泣き返した。冥福を祈る。なお、大学受験の時、早大へ入れたのも、兄の影響があった。